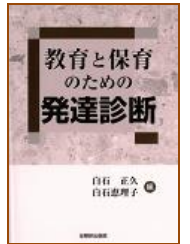


教育と保育のための 発達診断セミナー in 群馬



*本セミナーは『教育と保育のための発達診断』（白石正久・白石恵理子 編著 全障研出版部 A5判 272頁定価（本体2,800円+税））をテキストにしています。同書の執筆陣が講師です。受講者は当日ご持参くださるようお願いしています。



日時

2019年12月8日（日）

10:00～16:30

会場

群馬県社会福祉総合センター

受講料

全障研会員 4,000円

一般 6,000円

充実した講座

■講座1■

1歳半の質的転換期から3歳へ～発達の障害の早期発見と対応を視野に

白石正久

しらいし まさひさ／龍谷大学

■講座2■

4、5歳の発達の姿～仲間なかで育つ自制心と自己形成視

寺川志奈子

てらかわ しなこ／鳥取大学

■講座3■

学齢期前半から9、10歳の発達の姿～学力の基礎とは何かを問いながら

楠凡之

くすのき ひろゆき／北九州市立大学



発達診断セミナーへのお誘い



白石正久

子どもも障害のある人びとも、「よくなろう」という発達への願い（発達要求）をもって日々を生きています。発達要求は思い通りにならない自己の現実と向きあうことで苦悩となり、周囲には理解できないさまざまな行動となって現れることがあります。

実践は、ときとしてそのような発達要求を見失い、目に見えてできることを増やそうとしたり、「困った行動」を抑制しようとしていたりしています。子どもは、そういった実践に対し、いっそうかたくなに大人を拒絶しようとするでしょう。

全国障害者問題研究会（全障研）は、50年余の実践研究のなかで、子どもや障害のある人びとを発達の主人公として尊重し、その発達要求を理解するための方法を探究してきました。そのひとつが「発達診断」です。

現在、広く使われている「発達テスト」は、「できたーできない」を判別したり、発達年齢や発達指標を算出したりするものです。しかし、そういった指数からは子どもの発達要求やそこにある苦悩を理解することはできません。

私たちは「発達テスト」よりも子どもの生活に近い方法で、そして子どもの精一杯の試行錯誤や失敗の中にも大切な「発達の芽」を見抜く視点で、「発達診断」を創ってきました。しかも、それが実践のなかでの子どもや障害のある人びとの姿と重なるように検討を重ねてきました。

このセミナーが、保育や教育でよりよい子ども理解を願うみなさん、障害の早期発見対応に携わるみなさん、放課後や就労・地域生活の支援に携わるみなさんの実践の一助になることを願います。

主催 NPO 法人 発達保障研究センター

共催/全国障害者問題研究会・全国障害者問題研究会群馬支部

〒169-0051 新宿区西早稲田 2-15-10

西早稲田関ロビル 4F 全障研気付
発達保障研究センター 電話 080-4332-2601